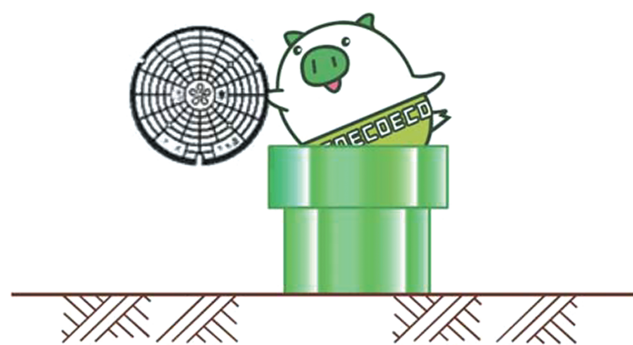




福岡県行政資料	
分類記号 RE	所属コード 1501900
登録年度 05	登録番号 0002

福岡県の下水道

令和5年度

福岡県建築都市部下水道課



福岡県建築都市部下水道課（令和6年3月）



芦屋町 あしや砂像展 10月下旬～11月中旬

【表紙】 画 わさき ともゆき作

将来の下水道事業の自然環境の改善効果に期待を込めて改善された自然環境の中で、子供たちが自然に親しんでいる姿を描いています。(子供→明るい未来に期待)
下水道事業に対して少しでもクリーンなイメージをもってもらいたく、明るく楽しい雰囲気づくりを心掛けました。

※本資料は、令和5年3月31日現在のデータを反映しております。

福岡県の下水道 令和5年度版

令和6年3月 発行
福岡県建築都市部下水道課
〒812-8577 福岡市博多区東公園 7-7
TEL 092-651-1111
(内線 4724～4727)
FAX 092-632-6103
Eメール gesuido@pref.fukuoka.lg.jp

は じ め に

下水道は、浄化槽などの汚水処理施設と同様に、生活環境改善や河川・海などの公共用水域の水質保全に寄与するとともに、都市浸水の防止や排除において極めて重要な役割を担っています。

特に福岡県では、2017年の九州北部豪雨以降、全国最多となる6回の大雨特別警報が発表されるなど、県内各地で大雨による浸水被害が発生し、人々の生活や社会経済活動に大きな障害や影響が出ております。

このような浸水被害の最小化を図るため、貯留浸透施設等のハード対策に加え、内水ハザードマップの公表等のソフト対策及び関係住民等による自助・共助を組み合わせた総合的な浸水対策の推進が求められております。

下水道事業を含む汚水処理の経営環境は、人口減少による使用料収入の減少や老朽化施設の更新期の到来等、年々厳しさを増しており、本県では、汚水処理施設の効率的で持続可能な事業運営を目指すため、「福岡県汚水処理事業広域化・共同化計画」を令和5年3月に策定し、令和5年度に、ブロック会議や全体会議を開催し、広域化・共同化の先行事例の紹介や情報共有を行い、計画実施の促進を図っているところです。

また、令和5年度から来年度にかけて、人口減少等社会情勢の変化をふまえた「福岡県汚水処理構想」の見直しに、同計画を反映させることとしております。

近年では、下水道事業においても循環型社会や脱炭素社会への貢献といった役割が期待されています。御笠川浄化センターでは、エネルギー対策の一環として、平成31年に下水汚泥固形燃料化施設を稼働させました。さらに、令和5年4月から下水汚泥を減量化する過程で発生する消化ガスを有効利用した消化ガス発電を開始し、資源循環型社会に貢献しているところです。

本書は、本県における下水道の取り組みなどを紹介することで、県民の皆様に、下水道について一層理解を深めていただくことを目的に作成しています。

今後とも、下水道事業の推進にご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

令和6年3月

福岡県建築都市部下水道課長 金子 喜年

目次

I. 下水道事業

I-1	福岡県の下水道変遷	7
I-2	下水道の役割	8
I-3	下水道のしくみ	8
I-4	下水道の種類	10
I-5	下水道の実施状況	14
I-6	下水道整備状況	35
I-7	下水道普及状況	37
I-8	下水污泥処理処分状況	39
I-9	汚水処理人口普及率状況総括図	40
I-10	事業実施の手順	44
I-11	下水道事業における関係予算	48

II. 公共下水道事業

II-1	市町村別計画平面図（污水）	57
II-2	雨水（浸水）対策計画	104

III. 流域下水道事業

III-1	福岡県の流域下水道	109
III-2	御笠川那珂川流域下水道事業	120
III-3	多々良川流域下水道事業	126
III-4	宝満川流域下水道事業	130
III-5	宝満川上流流域下水道事業	134
III-6	筑後川中流右岸流域下水道事業	136
III-7	遠賀川下流流域下水道事業	140
III-8	矢部川流域下水道事業	144
III-9	遠賀川中流流域下水道事業	148
III-10	明星寺川流域下水道事業（平成26年度完了）	152
III-11	流域下水道事業における計画的な改築・維持管理について	153
III-12	流域下水道の地震対策について	155
III-13	下水道革新的技術実証事業（B-DASHプロジェクト）	158

下水道事業

公共下水道事業

流域下水道事業

下水道事業の 主な事業制度

流域別下水道 整備総合計画

今後の汚水処理の 適正化に向けて

令和5年度の トピックス

参考資料

下水道事業

公共下水道事業

流域下水道事業

下水道事業の 主な事業制度

流域別下水道 整備総合計画

今後の汚水処理の 適正化に向けて

令和5年度の トピックス

参 考 資 料

IV. 下水道事業の主な事業制度

IV-1	未普及対策	161
IV-2	浸水対策	161
IV-3	地震対策	163
IV-4	改築更新	164
IV-5	水質改善・資源利用	165
IV-6	官民連携	167
IV-7	広域化・共同化等	168

V. 流域別下水道整備総合計画

V-1	流域別下水道整備総合計画	171
-----	--------------	-----

VI. 今後の汚水処理の適正化に向けて

VI-1	福岡県汚水処理構想の策定（平成29年3月）	175
VI-2	福岡県汚水処理構想の策定内容	176
VI-3	構想策定から事業実施まで	178
VI-4	福岡県汚水処理事業広域化・共同化計画の作成（令和5年3月）	180

VII. 令和5年度のトピックス

VII-1	マンホールカードの発行	185
VII-2	災害時支援に関するルール	190
VII-3	情報ネットワークの構築	192

VIII. 参考資料

VIII-1	事業実施の手順	201
VIII-2	下水道に関する指標について	202
VIII-3	県内市町の下水道料金制度	206
VIII-4	施設見学・イベント実施状況	210
VIII-5	水質保全に係る法体系	219
VIII-6	河川・海域別水質経年変化	230
VIII-7	下水道事業執行体制	247